

* * イ カ ナ ゴ 情 報 No.2 * *

後志南部地区水産技術普及指導所
北海道立中央水産試験場

2007年4月22～23日に、寿都の初漁の漁獲物より標本採集を行い、体長を測定しましたので結果をお知らせします。漁業者、組合の皆様、いつもご協力ありがとうございます。

島牧漁期前調査（前報）の組成と同様 小型群も今週半ばには適正サイズへ

22～23日に得られた2標本の体長組成をあわせて下図に示します。体長19～20mmをピークとする小型群がみられ、25mm以上の範囲では早い時期にふ化した2～3の小規模な群が混じり合っているような組成でした。前報（4/17付けイカナゴ情報No.1）でお知らせした島牧の漁期前調査で得られた採集物の組成と同様とみられ、前の調査から1週間経過したことで4～5mm程度大きくなった状況と考えられます。

小型群の平均的サイズが適正サイズ（23mmとして）に達するのはもう間もなく、今週半ばから週末にかけてと予想されます。

寿都湾では4月以降水温が急激に上昇しており、4月中旬以降は、ここ数年の同時期水温と比べ最高水準で推移しています。このことから魚体の成長は例年より早い傾向があることも予想されます。

体長15mmより小さい魚がほとんどみられないことから、次期の漁獲物の主体となりそうな群はまだみえていないようです。指導所、水試では今後も漁獲物組成のモニタを進め状況をお知らせしますので、標本採集等にご協力よろしく申し上げます。

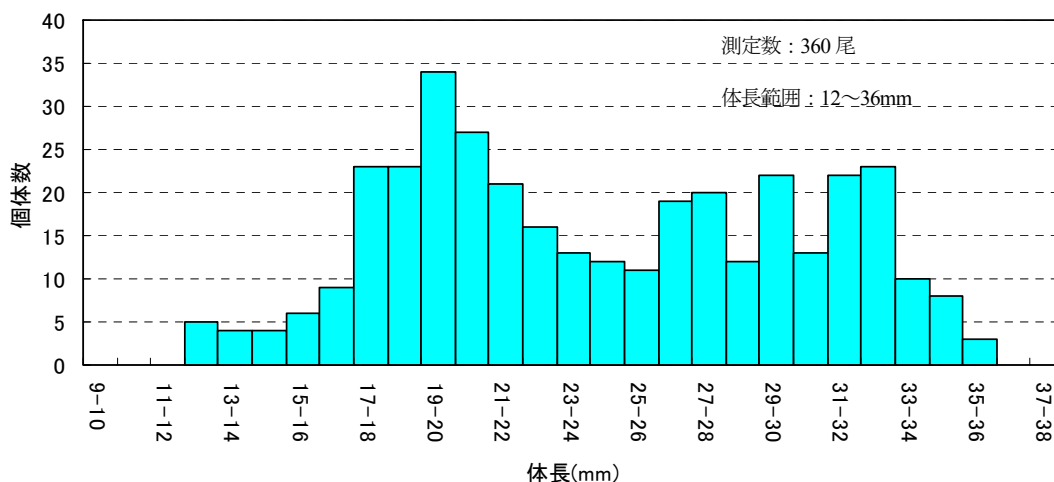


図 4月22～23日の寿都における漁獲物組成